

看護学教育における倫理を考えるセミナー

医療および海外の観点から看護学教育における倫理について考えてみよう

看護基礎教育における教育の倫理について医療および海外の観点から考えることを目的に、オンラインセミナーを開催いたしました。
セミナーの様子とアンケートの集計結果をご報告いたします。

● セミナー概要

開催日時 ● 2025年2月27日（木） 10:00-11:50

開催方法 ● ZOOMウェビナー
オンデマンド配信（期間：2025年3月10日～4月11日）

参加人数 ● 申込者 480名（会員 473名、非会員 7名）

スケジュール ●

時間	内容
10:00－10:05	理事長挨拶
10:05－10:10	セミナーの趣旨について
10:10－10:50	講演1「生命倫理：何のために話し合うのか」 講師 大北 全俊 氏（滋賀医科大学医学部医学科）
10:50－11:30	講演2「看護学教育に求められる倫理：アメリカの事情から」 講師 和泉 成子 氏 (Oregon Health & Science University School of Nursing)
11:30－11:45	質疑応答
11:45－11:50	終わりの挨拶

● セミナーの様子

講演 1

「生命倫理：何のために話し合うのか」

生命倫理を基軸として、倫理コンサルテーションの検討事例や研究倫理に関する教育の実際、公衆衛生における倫理のあり方についてご講演いただきました。

講演 2

「看護学教育に求められる倫理：アメリカの事情から」

アメリカの看護学教育における倫理教育の現状に加え、倫理的な視点を有する看護師を育成するために教育者が考慮すべき倫理や学生への教育の実際についてご講演いただきました。

● セミナーの様子

質疑応答

参加者の皆様より多くのご質問をいただきました！
一部にはなりますが、ご紹介いたします。

【事前に寄せられた質問】

- ・教員がどのようにかかわって教育をしたらよいか教えてください。
- ・倫理の考え方について学生にわかりやすく伝えるためのヒントを知りたい。
- ・アメリカの教員は教育の倫理をどのように学んでいるのか教えてください。
- ・学生の学習する権利を特にアメリカの臨床の場ではどのように配慮しているのか知りたい。

【チャットに寄せられた質問】

- ・臨床現場では良い実践例だけではなく、良くない場面や実践例を見ることがありますが、倫理的態度を育成するためにそういった場面をどのように活かしたらよいでしょうか。
- ・学生の公正さを損なわない対応が難しいと感じることがあります。教員の対応がうまくいった事例などがあれば教えてください。



- ・倫理的な視点を実践で活かすための授業デザインについて教えてください。
- ・今後、日本の看護教育における倫理教育および倫理教育の評価でどういったことが求められているのでしょうか。

前田理事長ご挨拶

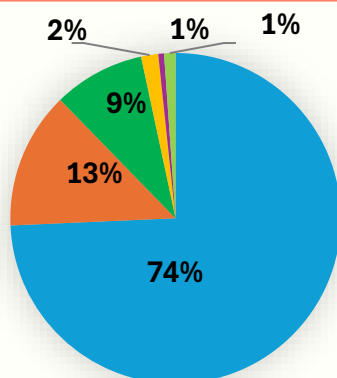


講師の皆様・倫理委員



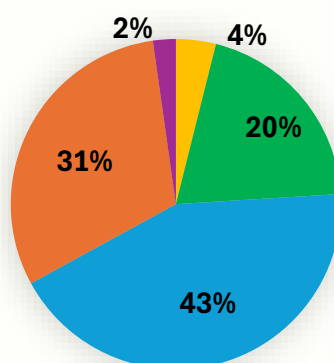
● アンケート集計結果 （回答者 179名）

職種



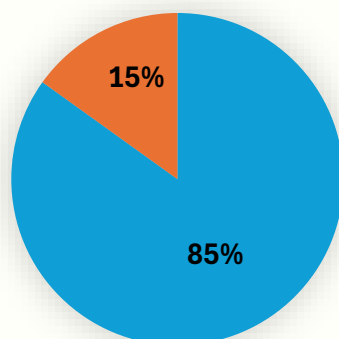
- 看護教員（大学・大学院）[133名]
- 看護教員（専門学校）[24名]
- 看護師[16名]
- 大学院生[3名]
- 保健師[1名]
- その他[2名]

年齢



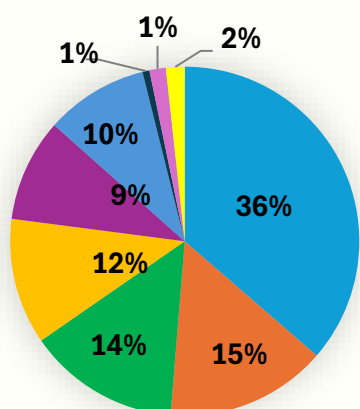
- 30歳代[7名]
- 40歳代[36名]
- 50歳代[77名]
- 60歳代[55名]
- 70歳代～[4名]

参加形式



- 当日のセミナーに参加[152名]
- オンデマンド配信を視聴[27名]

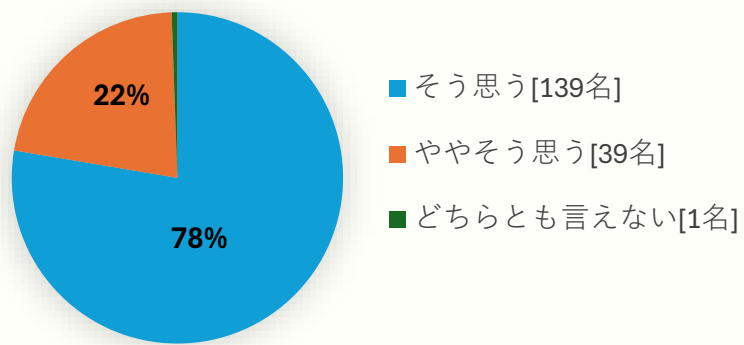
参加理由



- 看護学教育における倫理について関心があった[65名]
- 海外における看護学教育の倫理について関心があった[27名]
- 学内での教育の際に、学生への関わりについて迷うことがあった[25名]
- 臨地実習の際に、学生への関わりに迷うことがあった[22名]
- 学会のホームページでセミナーを知った[18名]
- 医療における教育倫理について関心があった[16名]
- 上司・同僚・知人の勧め[2名]
- 学会からのメール案内で知った[2名]
- その他[4名]

● アンケート集計結果 （自由記載は一部抜粋）

内容は有意義であったか



【そう思う】 92件

倫理教育の難しさや葛藤に対し、どのように対応すべきかの示唆が得られた。

講師より倫理を考える切り口を提示いただき、学生の多様性を考慮した倫理教育のあり方について学ぶことができた。

教育における平等、公平、インシビリティについて深く考える機会となった。

学生との向き合い方や自身の教育実践を振り返ることができた。

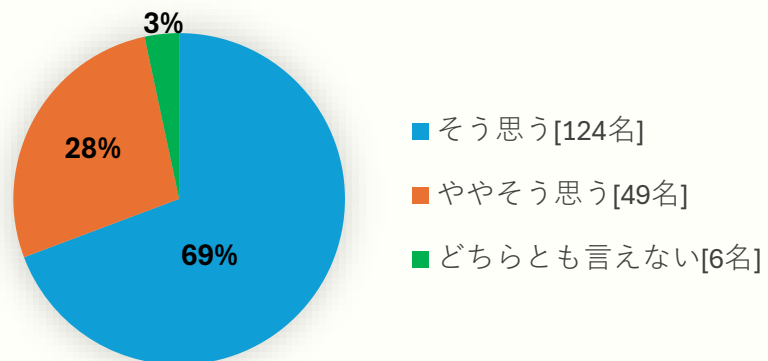
【ややそう思う】 23件

アメリカの教育における倫理的な取り組みや状況を知ることができ大変勉強になりました。

倫理的態度の育成や個人情報保護について再考する機会となった。

色々な事例を用いた説明をして欲しかった。

理解を深めることができたか



【そう思う】 55件

公衆衛生的な倫理や教育における公平・公正について理解することができた。

セミナーを通して自分の指導の方向性が間違っていないことに気づき、日々の迷いが解決され、モチベーションが上がった。

臨床現場で倫理的に課題のある場面（良くない看護実践）に遭遇した際に、学生の倫理的感受性を醸成するための教育的な関わりについて理解できた。

アメリカにおける倫理教育の解釈と実践について理解できる機会となった。

【ややそう思う】 23件

セミナーで知識を得ることができたため、ワークショップなどで理解を深めたい。具体例が多くあると分かりやすかったと思います。

【どちらとも言えない】 3件

もう少しQ&Aやディスカッションの時間があれば、さらに理解を深められると思いました。

● アンケート集計結果 （自由記載を一部抜粋）

看護学教育における倫理について思っていること

アメリカでの学生の倫理的態度を評価する方法について知りたい。

教員間の倫理的課題や、教育者の倫理的感受性についても見直す必要があると思いました。

実習において学生が良い看護実践をみることができるよう、病院の看護師への教育が重要だと感じた。

など、69件

今後のセミナー等で取り上げてほしいテーマ

看護教育における倫理に関するワークショップを行ってほしいです。

倫理教育の実例など具体的な事例を用いたセミナーを検討してほしい。

実習での学生の倫理的感受性を高める場面についての検討会など。

体系的な倫理教育についての講演やセミナー。

など、53件

セミナーについてのご意見・ご感想

学生の倫理的感受性の醸成のために、臨床現場での時間を活用することの大切さを感じた。

DVDやデモンストレーションなどを活用することで、演習の中で倫理的感受性を高めるための良い実践例を多数みてもらうことができると思った。

自分の行っている倫理教育や学生への対応を振り返る機会となりました。今後の実習指導や講義にも取り入れていきたいです。

当日の参加が難しかったので、オンデマンド配信をしていただき大変ありがたいです。

セミナー当日にタイミングが合わないことも多いので、今後のセミナーもオンデマンド配信を希望します。

など、45件

セミナーにご参加いただきありがとうございました。

企画・運営者：倫理委員会

委員長：細田泰子（大阪公立大学）

副委員長：水戸優子（神奈川県立保健福祉大学）

委員：前川幸子（甲南女子大学）、跡上富美（熊本大学）、間瀬由記（神奈川県立保健福祉大学）、野島敬祐（京都橘大学）、根岸まゆみ（静岡県立大学）、水引智央（大阪公立大学）